



楽しもう!
にほんの味。

和食会議は「1204和食セッション」を実施しました！

一般社団法人 和食文化国民会議（0003）は、

和食を 知る 食べる ための活動を実施しました！

活動内容

「和食」がユネスコ登録された12月4日に毎年開催している「1204和食セッション」を10回目となる今年も開催しました。講演は新潟大学の岸様、新留小学校設立準備財団の古川様におこなっていただき、その後のワークセッションでは、琵琶湖の湖魚を使った鮒ずしをはじめとする伝統食の試食や「伝統的酒造り」として注目を集める各地の日本酒の試飲をおこないました。

当時は80名近い方に会場でご参加いただき、「和食」について熱心に語り合っていただきました。

お問い合わせ先： (03-5817-4915 /info@washokujapan.jp)

全國「和食」連絡会議 第10回交流会
『1204 和食セッション』～次代に繋ぐ和食の集い～
「伝統的酒造り」ユネスコ無形文化遺産登録祝念
プログラム

開催概要
2025年12月4日 (水) 13:30-18:30 (13:00 受付開始)
会場情報: 東京駅UDX 4階 NEXT15とNEXT2
東京都千代田区外神田4-14-1

13:30 開会挨拶
一般社団法人和食文化国民会議 会長「和食」連絡会議 会長 池 祐樹

赤富士挨拶
農林水産省 大正官房新規事業・食立産業課 食文化課 食文化課長 岸川 勝也 氏

13:45 講演「日本酒学が拓く和食文化の未来—伝統と革新のグローバル展開—」
新潟大学 日本酒学センター センター長 岸 信行 氏
1973年東京を出立し、新潟の日本大学で修士号を取得。手嶋田大学助教、東京大学助教を経て、2012年新潟大学准教授。2020年3月より教授。2024年から日本酒学センター長。専門は新潟県の酒類栽培、醸造と新潟の「日本酒学」を統括し、その専門的知識などを世界に発信する。
14:45 講演「AIの時代に、食が教えてくれること」
一般社団法人新留小学校設立準備財団 会長代表 古川 邦介 氏
2000年から2019年まで日本語教師として中国、中国、日本の大学、高等、民謡学校などでカリキュラムマジシント、教務室教務員などをこなす。
2011年「ひとり旅音画」、2013年「ちいさなまほろば音画」を刊行。2018年にレストラントリオ設立。2020年「日本酒新宿会館」(カクタスビル)をオープン。既には滋賀県高島市に本拠地の新留小学校を設立する。
15:45 伝承技術者表彰 有機農業ヤマサ水道 西居 勝氏
(新田の会よりご記念) 著形の会員よりご記念 著形の会員
香りから酒質まで、京都の酒文化を大切にした在住者の酒蔵。
酒蔵が醸造される新星酒蔵は家に、酒蔵である「ビワ屋」(ニイイ)カリブラングリーン以上は高級酒蔵の酒蔵会員、酒蔵などでの酒蔵化をすすめる。子供たちに伝承酒蔵をかかせないで貰う。酒蔵をもって取引を組む。
16:00 ワークセッション 「伝統日本酒品」試飲
「大穴の酒」試飲
「現生の細胞、好ずし等5尾」試飲
「酒類紹介パネル展示」

日本酒組合中央会
新潟大学 日本酒学センター
ヤマサ水道
新留小学校設立準備財団



ワークセッションのようす